

## 白ネギとキャベツを組み合わせた作付体系による経営安定

対象者 甲賀市信楽町 T氏

### 【普及活動のねらい】

T氏は、平成27年に露地野菜を主体とした水稻との複合経営を開始されました。就農当初より年間を通して露地野菜を栽培されており、冬期はキャベツを中心に栽培されてきました。しかし、冬季の冷え込みの厳しい信楽町での栽培のため、しばしば凍霜害が発生し目標収量が達成できないことがありました。

そこで、凍霜害を回避できるキャベツの品種や作型を検討するとともにキャベツよりも凍霜害に強い白ネギの導入など地域の気候に合った露地野菜の作付体系を構築することを目標に支援しました。

### 【普及活動の内容】

#### キャベツの品種・作型選定の支援

凍霜害を受けにくい春どり（4～6月）キャベツの春播き品種の試験圃を設置し、球高、球径、球重と合わせて玉の詰まり具合や外観等をT氏とともに調査を行い導入可能な品種選定を支援しました。



キャベツの品種検討

#### 白ネギの栽培管理技術の習得支援

白ネギについては、これまで栽培された経験が無かったことから、圃場選定から収穫調製作業まで、作業のポイントごとにきめ細やかに現地指導しました。

特に、他品目との労働競合を回避するため除草剤を活用した省力的な除草管理を指導しました。また、圃場に覆土の目安を示す印をつけた棒を設置し、「忍葱」ブランドの出荷に向けて軟白部分が25cm以上を確保するための指導を行いました。

また、病害虫対策については、昨年の反省を踏まえて「さび病」を重点的に体系的な防除について指導を行いました。

### 【普及活動の成果】

春どり（4～6月）キャベツについては、実証圃の結果から球重や品質が優れた2品種が選定されました。

白ネギの栽培については、適期に定植作業が実施され、除草剤等を活用することで雑草の繁茂が軽減され、他品目との労働競合が回避されました。

また、「さび病」対策として定期的に防除が実施されるとともに目安棒を基準に土寄せが実施されました。

今後も、白ネギとキャベツを組み合わせるなどの地域の気候に合った作付体系により、安定生産と所得の確保を図り、経営安定に向け支援を行っていきます。



まもなく収穫予定の白ネギ